

令和8年度 第1回 みえスタディ・チェックの結果について

自己肯定感

達成感

チャレンジ

わかった!

学力の向上

できた!

人との関わり



三重県教育委員会事務局 学力向上推進プロジェクトチーム

令和8年度第1回みえスタディ・チェックの結果をお知らせします。各学校では、授業改善、学習内容の理解・定着、学習習慣等の確立が一層進むよう、結果の活用をお願いします。

目的

- 児童生徒が自らの学習内容の定着状況を確認し、目標を持って主体的に学習に取り組む意欲を育む。
- 学習指導要領の趣旨や内容に基づき、児童生徒の学習内容の定着状況を把握し、授業改善及び個に応じた指導の充実等、各学校が組織的かつ継続的なPDCAサイクルを確立し、児童生徒の学ぶ意欲や学力の向上のための取組を促進する。

実施日

令和8年度始業式翌日から令和8年5月29日（金）まで

対象学年

小学校第4学年、第5学年 中学校第1学年、第2学年

実施内容

実施教科：国語、算数・数学、理科 ※理科については、小学校第4学年を除く
学習や生活等に関する質問

実施校数

小学校 第4学年 324校 中学校 第1学年 148校
小学校 第5学年 324校 中学校 第2学年 149校

※対象児童生徒が在籍する全ての小中学校等で実施

各教科の平均正答率・平均無解答率

平均正答率

教科	小学校		中学校	
	第4学年	第5学年	第1学年	第2学年
国語	50.6%	46.2%	47.5%	41.7%
算数・数学	53.2%	54.4%	53.4%	51.5%
理科	—	47.8%	52.5%	42.7%

平均無解答率

教科	小学校		中学校	
	第4学年	第5学年	第1学年	第2学年
国語	9.99%	13.36%	9.08%	7.06%
算数・数学	5.25%	3.07%	2.85%	6.48%
理科	—	4.56%	3.13%	4.13%

みえスタディ・チェックを活用した授業改善を!

みえスタディ・チェックの実施 学習内容の定着状況を把握・分析

- 県全体（入力校）の状況と自校の結果を比較した分析
- 問題ごとの分析
- S-P表を活用した子ども一人ひとりの学習内容の定着状況を把握・分析

S-P表から分かること

- クラス全体の強み・弱み
- 児童生徒一人ひとりの強み・弱み

学校/学級別解答状況整理表（S-P表）の見方

左から右へ、横平均正答率の高い順に問題番号を記載

自己肯定感

わかった!

できた!

授業改善

目の前の子どもたちの課題をふまえた授業づくり
今、求められている授業を知る

学習内容の理解・定着

毎日の繰り返し
系統的な積み上げ

子どもたちのつまずきを把握

子どものつまずきに対応した授業改善

▶▶▶ みえスタディ・チェックを活用した
授業改善のポイントは、2ページから!

子どもたちの「わからない」を「わかった」「できた」に変えるための取組

▶▶▶ 関連問題の活用

みえスタディ・チェック実施後の結果票から、設問ごとに、正解の場合はさらに難しい問題が、不正解の場合は学習内容を遡った問題が提供されます。



みえの学力県民運動ホームページ S-P表、関連問題の説明資料を掲載しています!

https://www.mie-c.ed.jp/kenminundou/sensei/kyouin_douga/kyouin_douga.html

令和8年度第1回
教科に関する結果
小学校第4学年
国語

平均正答率
(平均正答数) **50.6%**
(5.0問/10問)

平均
無解答率 **9.98%**

改善
が図られた問題
(出題の趣旨)
・文の中における主語と述語との関係を捉えることができる(2一)

平均正答率	過去同一問題正答率	改善状況
72.2%	69.7%	2.5%

課題
が見られた問題
(出題の趣旨)
・目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができる(3三)

36.3%	—	—
-------	---	---

・話し合いの内容を正確に捉えてまとめることができる(4二)

21.4%	27.9%	-6.5%
-------	-------	-------

各問題の正答率

問題番号	問題概要	問題形式	正答率
1	一 漢字を書く(集合ばしょ)	短答	78.0%
	二 漢字を書く(選手をかえる)	短答	9.8%
	三 漢字を書く(あつい日が続いています)	短答	70.8%
2	一 文の主語を選択する	選択	72.2%
	二 文の主語を選択する	選択	71.9%

問題番号	問題概要	問題形式	正答率
3	一 理由が書かれている段落を選択する	選択	54.7%
	二 主語と述語のつながりが合っていない文を選択する	選択	32.4%
	三 資料から中心となる語や文を見付ける	短答	36.3%
4	一 【話し合いの一部】で、三人に共通する発言の仕方の工夫として適切なものを選択する	選択	58.3%
	二 【話し合いの一部】で出た、折り紙の良いところを全て取り上げ、話し合いで出た意見をまとめる	記述	21.4%

授業改善のポイント

具体的な設問例
4二
正答率
21.4%

話し合いの内容を正確にとらえてまとめることができるかどうかをみる問題

学習指導要領における内容

【第3学年及び第4学年】A 話すこと・聞くこと
エ 必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心を捉え、自分の考えをもつこと。
【第3学年及び第4学年】B 書くこと
ウ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。

⑤

必要となることを記録したり質問したりして話の中心を捉え、内容を正確にまとめて書く

「話の中心を捉えること」には、話し手が伝えたいこと、自分が聞きたいこと、話の中心を捉えるための興味や関心をもち、聞く目的を明確にしながら集中して聞くとともに、必要な事柄を記録しながら話を聞いたり、聞いた事柄を基に分からない点や確かめたい点などを質問したりすることが大切です。

実際の授業場面においても、質問するだけに終始せず、質問してわかったことを踏まえて形成した自分の考えを表現できるように指導することが効果的です。

詳細は下記の二次元コードを読み込むかリンクからご覧ください。

必要となることを記録したり質問したりして話の中心を捉え、内容を正確にまとめて書く

「話の中心を捉えること」には、話し手が伝えたいこと、自分が聞きたいこと、話の中心を捉えるための興味や関心をもち、聞く目的を明確にしながら集中して聞くとともに、必要な事柄を記録しながら話を聞いたり、聞いた事柄を基に分からない点や確かめたい点などを質問したりすることが大切です。

実際の授業場面においても、質問するだけに終始せず、質問してわかったことを踏まえて形成した自分の考えを表現できるように指導することが効果的です。

詳細は下記の二次元コードを読み込むかリンクからご覧ください。

課題の改善に向けた授業アイデア例

「地域のためにできることについて話し合おう」
～互いの立場を明確にしながら計画的に話し合い、考えをまとめる～

実施対象学年
第5・6年

国立教育政策研究所ホームページ

令和4年度
全国学力・学習状況調査の結果
を踏まえた授業アイデア例



<https://www.nier.go.jp/jugyo/urei/r04/index.html>

令和8年度第1回
教科に関する結果
小学校第5学年
国語

平均正答率
(平均正答数) **46.2%**
(6.9問/15問)

平均
無解答率 **13.36%**

改善
が回られた問題
(出題の趣旨)
・ 故事成語の意味と使い方を理解することができる (3二)

課題
が見られた問題
(出題の趣旨)
・ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる (5三)
・ 相手や目的に応じて筋道を立てて話すことができる (7二)

平均正答率	過去同一問題正答率	改善状況
64.1%	—	—
8.0%	—	—
8.7%	14.8%	-6.1%

各問題の正答率

問題番号	問題概要	問題形式	正答率
1	一 文脈に沿って漢字を書く(ふんか者)	短答	72.3%
	二 文脈に沿って漢字を書く(きぼう者)	短答	60.6%
	三 文脈に沿って漢字を読む(箱がぬいてある)	短答	72.9%
2	接続語を使って一文を二文に分けて書く	短答	36.1%
3	一 言葉の意味と使い方を捉え、適切なものを選択する(はかる)	選択	53.5%
	二 故事成語の使い方として適切なものを選択する(五十歩百歩)	選択	64.1%
4	一 示された述語に対応する主語を選択する	選択	47.3%
	二 主語と述語のつながりが合っていない文を選択する	選択	44.2%

問題番号	問題概要	問題形式	正答率
5	一 【物語の一部】で、杏があせている理由として適切なものを選択する	選択	42.0%
	二 【物語の一部】で、質問をしたときの杏の気持ちとして適切なものを選択する	選択	45.6%
	三 【物語の一部】を読んで、杏の仕事に対する考えの変化について書く	記述	8.0%
6	一 調べたことを報告する文章にまとめるときの工夫として適切なものを選ぶ	選択	61.3%
	二 地域の人たちと交流会でしたい昔の遊びの一つを選び、その理由を複数の資料の内容から取り上げて記述する(60字～100字)	記述	20.2%
7	一 話し合いを基に作成した報告で示す資料として、適切なものを選択する	選択	56.6%
	二 【報告内容】の空欄に当てはまるよう【アンケート結果】の質問2から分かることを数字を入れて記述する(50字～60字)	記述	8.7%

授業改善のポイント

具体的な設問例
7二
正答率
8.7%

相手や目的に応じて筋道を立てて話すことができるかどうかをみる問題

学習指導要領における内容

【第3学年及び第4学年】A 話すこと・聞くこと
イ 相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。

【第3学年及び第4学年】B 書くこと
ウ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。

話の内容が明確になるように構成を考えたり、資料を活用して自分の考えが伝わるように話す

⑦

自分の考えや伝えたい内容の中心が明確になるように理由や事例を挙げ、筋道立てた構成にすることが重要です。指導に当たっては、冒頭で話の中心を述べ、そのことに合わせた理由や事例などを挙げたり、最初に提示した内容と結論がずれないようにしたりすることが大切です。

また、自分の考えとそれを支える理由や事例といった関係性が明確になるように記述することも重要です。指導に当たっては、理由を記述する際には、「なぜなら～」、「その理由は～」、「～ためである」など、理由を示すことを明確にする表現を用いること、事例を記述する際には、「例えば～」、「事例を挙げると～」、「～などがそれに当たる」などの表現を用いることができるようにすることが大切です。

第5学年及び第6学年においては、「話の中心を明確に」することに加え、目的や意図に応じて簡単に書く部分と詳しく書く部分を決めたり、事実と感想、意見とを区別して書いたりすることができるよう指導する必要があります。

【アンケート】

読書についてアンケート

質問1 この1か月間で本を何冊か読みましたか。一つだけお答えください。

① 0冊 ② 1冊 ③ 2冊 ④ 3冊以上

質問2 あなたが読書をするきっかけは何ですか。

最も多いのは読書会か、一つだけお答えください。

① 読書会 ② 家族から勧められたこと ③ 学校の図書から借りたこと ④ 知り合いのすすめで借りたこと

質問3 どんな種類の本が好きですか。一つ書いてください。

【アンケート結果】

質問1 (〇を付けた人の数)

① 3人 ② 18人 ③ 4人 ④ 3人 ⑤ 2人

質問2 (〇を付けた人の数)

① 8人 ② 5人 ③ 17人 ④ 3人

質問3

和紙 21人
絵巻物 4人(1冊4冊) 2、動物 23
歴史小説 3人(歴史 2、世界の文化 1)
スポーツの本 1人
図鑑 1人

【条件】

○ 質問2の結果から分かることを、数字を入れて書くこと。

○ 前後の内容をつなげるように書くこと。

○ 報告にふさわしい言葉を用いて書くこと。

○ 五十文字以上、六十文字以内にとめて書くこと。

※解答は、解答用紙に書きましょう。

【報告内容】

わたしは、クラスの人たちがどのように読書をしているかを知るために、アンケートを取って調べました。

まず、この一か月間で本を何冊か読みましたか、という質問がありました。結果は、最も多かったのが、一から三つまでの十八人で、次に多かったのは、四から六つまでの四人で、四つ以上読んだ人は、九人でした。思っていたよりも読んでいる本の数が少なかったため、みんなに本をもっと読んでほしいと思います。

次に読書のきっかけは何ですか、という質問は、結果は、読書会がもっとも多く、次に家族から勧められたこと、学校の図書から借りたこと、知り合いのすすめで借りたこと、という結果になりました。これはわたしの予想通りでした。

調べたことをお話し、今までより多くの人々に図書室に来て本を読んでもらえるように、わたしたちが何かできる方法を考えてみたいと思います。

次に読書のきっかけは何ですか、という質問は、結果は、読書会がもっとも多く、次に家族から勧められたこと、学校の図書から借りたこと、知り合いのすすめで借りたこと、という結果になりました。これはわたしの予想通りでした。

調べたことをお話し、今までより多くの人々に図書室に来て本を読んでもらえるように、わたしたちが何かできる方法を考えてみたいと思います。

令和8年度第1回
教科に関する結果
小学校第4学年
算数

平均正答率
(平均正答数)

53.2%
(6.4問/12問)

平均
無解答率

5.25%

改善

が回られた問題
(出題の趣旨)

・ 除法を用いて、何倍かを求めることができる (3)

課題

が見られた問題
(出題の趣旨)

・ 整数の除法の意味について理解している (4)

・ 数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることができる (6ア、イ)

平均正答率

過去同一問題正答率

改善状況

76.4%

77.0%

-0.6

32.1%

38.0%

-5.9

ア40.7%

-

-

イ24.4%

-

-

各問題の正答率

問題番号	問題概要	問題形式	正答率
1	905-8の計算をする	短答	81.9%
2	34×27の計算をする	短答	66.7%
3	6は2の何倍かを求める	短答	76.4%
4	12÷3の式で求められる問題をすべて選択する	選択	32.1%
5	(1) 2つの棒グラフの1目盛りの数の違いに着目し、示された事柄の正誤について選択し、その理由を説明する	記述	30.7%
	(2) 棒グラフから、3年生から5年生までの伝記と絵本を借りた冊数の違いを読み取る	選択	69.7%
	(3) 棒グラフから、全校児童が借りた物語と絵本の冊数について、9月に借りた冊数に比べて11月に借りた冊数はそれぞれ何冊増えたかを求める	短答	63.5%

問題番号	問題概要	問題形式	正答率
6	ア 数直線上に示された数を分数で書く	短答	40.7%
	イ 数直線上に示された数を分数で書く	短答	24.4%
7	午前10時45分から午後1時30分までの時間を選択する	選択	46.2%
8	二等辺三角形を描くための頂点を2つ選択する	選択	39.5%
9	縦3cm、横5cmの長方形のまわりの長さを求める	短答	67.2%

授業改善のポイント

具体的な設問例

6ア、イ

数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることができるかどうかをみる問題

学習指導要領における領域・内容

正答率

ア40.7%

イ24.4%

【第3学年】A 数と計算

(6) 分数とその表し方に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表すのに分数を用いることを知ること。
また、分数の表し方について知ること。

(イ) 分数が単位分数の幾つ分かで表すことができることを知ること。

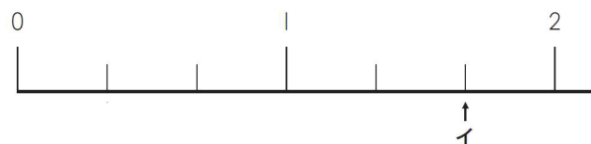
6 次の数直線のアの目もりが表す数を分数で書きましょう。

※かい答は、かい答用紙に書きましょう。



6 次の数直線のイの目もりが表す数を分数で書きましょう。

※かい答は、かい答用紙に書きましょう。



数直線上の目盛りが表す数を分数で表すことで、分数の意味や表し方について理解を深めることができるようにする

数直線上の目盛りが表す数を分数で表すことで、分数の意味や表し方について理解を深めることができるようにすることが重要です。

指導に当たっては、例えば、左の目盛りが表す数を分数で表す活動が考えられます。その際、0から1までが何等分されているのかに着目して、単位分数を捉えることができるようにすることが大切です。その上で、他の目盛りが表す分数を単位分数の幾つ分として考えることができるようにすることも大切です。

令和8年度第1回
教科に関する結果
小学校第5学年
算数

平均正答率
(平均正答数) **54.4%**
(9.2問/17問)

平均
無解答率 **3.07%**

改善
が図られた問題
(出題の趣旨)
・二次元表に示された数の意味を考え、グラフと関連付けることができる (10(3))

平均正答率 **77.3%**
過去同一問題正答率 **-**
改善状況 **-**

課題
が見られた問題
(出題の趣旨)
・小数の除法の意味について理解している (5)
・台形の意味や性質について理解している (11(1))

38.2% **33.9%** **+4.3**
35.8% **44.9%** **-9.1**
(参考値)

各問題の正答率

※(参考値) …全国学力・学習状況調査の平均正答率

問題番号	問題概要	問題形式	正答率
1	316×24の計算をする	短答	77.4%
2	4.6-0.21の計算をする	短答	75.3%
3	58674を四捨五入して、千の位までの概数で表したものを を選択する	選択	61.2%
4	30人が1つの長椅子に4人ずつ座るときに必要な長椅子 の数を求める式と答えを選択する	選択	64.6%
5	1.5÷3の式で求められる問題を全て選択する	選択	38.2%
6	色をぬった部分の長さが3/4mのテープを選択する	選択	47.3%
7	20mは8mの何倍かを求める	短答	54.6%
8	午前10時40分から午後1時15分までの時間を求める	短答	51.3%
9	重さがおよそ1kgのものをを選択する	選択	66.8%

問題番号	問題概要	問題形式	正答率
10	(1) 3つのグラフから分かることとして正しいものをすべて 選択する	選択	56.1%
	(2) 二次元表の「192」がどのような数を表しているかわ かるように、表の中の言葉を使って説明する	記述	69.5%
	(3) 二次元表の <input type="text"/> の部分の数を使って表したグラフを選 択する	選択	77.3%
	(4) 折れ線グラフと棒グラフを組み合わせたグラフから、影 の長さが同じだった時刻と、そのときの気温差を書く	短答	33.5%
11	(1) 方眼上の五つの図形の中から、台形を選ぶ	選択	35.8%
	(2) 分度器の目盛りを読み、180°より大きい角の大きさを 求める	短答	48.9%
12	(1) 示された図形の面積を求めるために、長方形ABHFを長 方形EBCDの上に動かしてできた長方形AHCFのたての長さを 表す式を書く	短答	40.3%
	(2) 30-9が、示された形の面積をどのように求めているの かを、「30」と「9」がどのような図形の面積を表して いるのかわかるように、言葉と数、記号を使って説明 する	記述	26.6%

授業改善のポイント

具体的な設問例
11(1)
正答率
35.8%

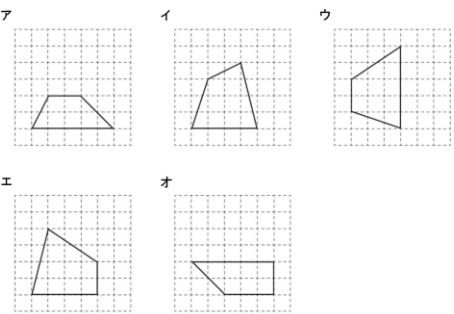
台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる問題

学習指導要領における領域・内容

【第4学年】B 図形
(1) 平面図形に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
(イ) 平行四辺形、ひし形、台形について知ること。

11 (1) わかなさんは、方眼紙に下のアからオまでの四角形を書きました。
下のアからオまでの中で、台形はどれですか。
3つ選びましょう。

図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、
図形の性質に基づいて図形を弁別できるようにする



図形の置き方をいろいろと変えても、図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目して、図形を弁別できるようにすることが重要です。
指導に当たっては、例えば、置き方をいろいろと変えて示された幾つかの四角形の中から台形を弁別し、その理由を説明する活動が考えられます。その際、図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目しながら、図形の性質を基に弁別した理由を説明することで、置き方をいろいろと変えても図形の性質は変わらないことを理解できるようにすることが大切です。また、台形でない図形についても、図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目しながら、図形の性質を基に台形でない理由を説明したり、それらの図形をどのように構成し直せば台形になるのかを考えたりすることができるようにすることも大切です。

全国学力・学習状況調査 報告書

実施対象学年
第4学年

国立教育政策研究所ホームページ
詳細は二次元コードを読み込むか
リンクからご覧ください

<https://www.nier.go.jp/jugyoure/i/r05/index.html>

「図形の構成の仕方を観察して図形について判断すること」
「令和5年度全国学力・学習状況調査 報告書
(小学校算数)」 P39～41 学習指導に当たって」

令和8年度第1回
教科に関する結果
小学校第5学年
理科

平均正答率
(平均正答数) **47.8%**
(8.6問/18問)

平均
無解答率 **4.56%**

改善
が回られた問題
(出題の趣旨)
・観察で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる(5(1))

平均正答率 **69.8%**
過去同一問題正答率 **67.5%**
改善状況 **+2.3**

課題
が見られた問題
(出題の趣旨)
・ゴムの力の働きと物が動く距離の関係について、輪ゴムの本数に注目して、差異点や共通点から、新たな問題を見だし、その内容を記述することができる(4(3))
・観察などで得た結果を、結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる(5(3))

22.3% **-** **-**

24.1% **29.6%** **-5.5**

各問題の正答率

問題番号	問題概要	問題形式	正答率
1	(1) 野鳥のひなの様子を観察するための適切な方法を選ぶ	選択	56.2%
	(2) 鳥の翼と人の腕のつくりについてのまとめから、どのような視点を基にまとめた内容なのかを選ぶ	選択	52.9%
	(3) 腕を曲げることのできる骨と骨のつなぎ目を表す言葉を書く	短答	75.3%
	(4) 人の腕が曲がる仕組みについて、示された模型を使って説明できる内容を選ぶ	選択	51.3%
2	(1) 方位磁針の適切な操作方法を選ぶ	選択	42.6%
	(2) 月を観察するときに建物がかかっている理由について説明した文の空欄に入る、適切な言葉を書く	短答	54.8%
	(3) 2時間後に満月はどの向きに動くかを選び、その理由を書く	記述	23.5%
3	(1) 台ばかりの目盛りを読む	短答	67.0%
	(2) ランドセルを背負って体重計に乗ったときと同じ重さになる体重計の乗り方を選ぶ	選択	71.4%
4	(1) ゴムの力で動くおもちゃを高く飛ばすための適切な方法を表す言葉を書く	短答	51.9%
	(2) 決められた距離まで車を動かすための適切なゴムを伸ばす長さを選ぶ	選択	53.8%
	(3) かおりさんの調べてみたいことから、見いだした問題について書く	記述	22.3%

問題番号	問題概要	問題形式	正答率
5	(1) 冬の天気と気温の変化を基に、問題に対するまとめを選ぶ	選択	69.8%
	(2) 夜の気温の変化について、他者の予想を基に、記録の結果を表したグラフを見通して選ぶ	選択	51.5%
	(3) 結果からいえることは、提示された結果のどこを分析したものなのかを選ぶ	選択	24.1%
6	(1) 水の温まり方について、問題に対するまとめをいうために、調べる必要があることについて書く	短答	18.5%
	(2) ① 水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識と関連付け、適切に説明しているものを選ぶ	選択	42.2%
	(2) ② 水の結露について、温度によって水の状態が変化するという知識と関連付け、適切に説明しているものを選ぶ	選択	31.3%

授業改善のポイント

具体的な設問例 **4(3)**

差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現することができるかどうかをみる問題

学習指導要領における区分・内容

【第3学年】A物質・エネルギー

(2) 風とゴムの力の働きについて、力と物の動く様子に着目して、それらを比較しながら調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。

(イ) ゴムの力は、物を動かすことができること。また、ゴムの力の大きさを変えると、物が動く様子も変わる。

4

みんなが輪ゴムのばした長さを同じにしたら、車が動いたきよりは同じになるのかな。

かおりさん

かおりさんは、次のような【方法②】で車を動かしました。

【方法②】

- スタートラインで鉛しやろうちを置いて車を飛ばさせる。
- 輪ゴムのばす長さを10cmにする。
- ひとりにつき1回行う。
- 鉛しやろうちや記録は、みんな同じものを使う。
- 車が動いたきよりを記録する。

0m 1m 2m 3m 4m 5m 6m

車を動かしたら、【結果②】のようになりました。

【結果②】

	輪ゴムのばした長さ	車が動いたきより
よしこさん	10cm	3m98cm
じろうさん	10cm	4m 5cm
たくやさん	10cm	4m 1cm
かおりさん	10cm	4m 8cm

車が動いたきよりは、スタートラインからの後ろ側まで

差異点や共通点を基に、具体的な条件に着目し、問題を見いだすことができるようにする

自然の事物・現象に働きかけて得た事実に基づいて、問題を見いだすことができるようにするためには、事実を比較し、差異点や共通点を捉えることができるようにすることが重要です。

指導に当たっては、観察、実験の結果を比較して、差異点や共通点を基に、具体的な条件に着目した問題を見いだす場面を設定することが考えられます。例えば、「輪ゴムのをばした長さで、車が動いたきよりはどのような関係があるのだろうか。」という問題を見だし、ゴムの元に戻ろうとする力の大きさと物の動く様子との関係を調べます。ゴムの働きと物が動く距離の関係について学習した後、「のばすゴムの長さを変えるほかに車が動く距離を変える方法はないのかな」、「輪ゴムの本数を変えると車が動く距離はどうなるのかな」、などと調べたいことについて話し合う中で「輪ゴムの本数によって、車が動く距離はどのように変わるのだろうか」といった問題を見いだす学習活動が考えられます。

令和8年度第1回
教科に関する結果
中学校第1学年
国語

平均正答率
(平均正答数)

47.5%
(6.7問/14問)

平均
無解答率

9.08%

改善
が図られた問題
(出題の趣旨)

・文の中における修飾と被修飾との関係を捉えることができる(1・2)

平均正答率

過去同一問題正答率

改善状況

58.1%

47.4%

+10.7

課題
が見られた問題
(出題の趣旨)

・必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることができる(4-1)
・目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる(4-2)

61.0%

75.9%

-14.9

32.3%

45.8%

-13.5

各問題の正答率

問題番号	問題概要	問題形式	正答率
1	一 言葉の意味と使い方を捉え、適切なものを選択する(対照)	選択	64.1%
	二 文中の「買ってもらった」がわくわくしている言葉として適切なものを選択する	選択	58.1%
	三 グループの話し合いを通して見つけた俳句のよさとして適切なものを選択する	選択	57.2%
	四 情景描写を正しく理解し、適切なものを選択する	選択	62.5%
2	一 「打ち上げ花火の歴史」という見出しに合わせて必要な内容を書き加える	短答	78.3%
	二 【ずかんの一部】の中から花火師の苦勞が具体的に書かれている内容を引用して書く	短答	33.7%
	三 複数の内容を関係付けた上で、自分の考えを具体的に書く	記述	13.2%

問題番号	問題概要	問題形式	正答率
3	一 「げんみつ」を漢字で書く	短答	24.7%
	二 【文章の一部】の内容として適切なものを選択する	選択	37.7%
	三 【発表原稿の下書き】のAで説明する内容を書く	記述	23.6%
4	一 (1) 【インタビューの様子】の傍線部A(～ということだと思いますが、合っていますか。)のように質問をした理由として適切なものを選択する	選択	61.0%
	一 (2) 【インタビューの様子】の傍線部B(～というのは、どのような姿ですか。)のように質問をした理由として適切なものを選択する	選択	64.3%
	二 寺田さんと山本さんが、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことをまとめて書く	記述	32.3%
	三 敬語の使い方をまとめた【谷さんのノートの一部】の空欄に入る内容として適切なものを選択する	選択	55.0%

授業改善のポイント

具体的な設問例

4-2

目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる問題

正答率
32.3%

学習指導要領における内容

【第5学年及び第6学年】A 話すこと・聞くこと
エ 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。

目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる

話を聞いて自分の考えをまとめる際には、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることが重要です。その際、話し手の考えと自分の考えの共通点や相違点を整理したり、共感した内容や納得した事例を取り上げたりして、自分の考えをまとめることが大切です。

指導に当たっては、相手が自分に伝えたいことや、自分が求めている情報などを明確にして聞くことができるように指導することが重要です。インタビューをする前に、自分が知りたいことや疑問に思っていることなどを整理したり、答えを予想したりしておくことも考えられます。また、インタビューをする際には、自分が知りたい内容に関する言葉を取り上げ、更に質問しながら理解を深め、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめているようにすることも大切です。

※解答は、解答用紙に書き添えてください。

問題用紙3

④ 谷さんは、寺田さんと山本さんの二人がどのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことを書く(1)。

条件1 寺田さんと山本さんの二人がどのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことを書く(1)。

条件2 「インタビューの様子」の傍線部Bの、寺田さんと山本さんの発言の中から語句や文を取り上げて書くこと。

条件3 書き出した語句や文を整理して、四十以上、六十字以内(またはその相当)にまとめること。なお、書き出した語句や文は、字数にはくまなく使う。

※解答は、解答用紙に書き添えてください。

問題用紙3

④ 谷さんは、寺田さんと山本さんの二人がどのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことを書く(1)。

条件1 寺田さんと山本さんの二人がどのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことを書く(1)。

条件2 「インタビューの様子」の傍線部Bの、寺田さんと山本さんの発言の中から語句や文を取り上げて書くこと。

条件3 書き出した語句や文を整理して、四十以上、六十字以内(またはその相当)にまとめること。なお、書き出した語句や文は、字数にはくまなく使う。

課題の改善に向けた授業アイデア例

詳細は下記の二次元コードを読み込むかリンクからご覧ください。

「学校ボランティアの人たちを紹介するためにインタビューをしよう」

「令和5年度全国学力・学習状況調査 報告書授業アイデア例(小学校国語)」

P65~70

国立教育政策研究所ホームページ

令和5年度
全国学力・学習状況調査の結果
を踏まえた授業アイデア例



<https://www.nier.go.jp/jugyoure/i/r05/index.html>

令和8年度第1回
教科に関する結果
中学校第2学年
国語

平均正答率
(平均正答数) 41.7%
(6.3問/15問)

平均
無解答率 7.06%

改善
が回られた問題
(出題の趣旨)
・必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができる(4-)

平均正答率 55.1%
過去同一問題正答率 51.1%
改善状況 +4.0

課題
が見られた問題
(出題の趣旨)
・読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることができる(5-)
・読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができる(5二)

40.2% 54.6%
(参考値) (参考値) -14.4
(参考値)
28.1% 30.6%
(参考値) (参考値) -2.5
(参考値)

※(参考値) …全国学力・学習状況調査の平均正答率

各問題の正答率

問題番号	問題概要	問題形式	正答率
1	一 適切な語句を選択する(立場の異なる両者の主張は終始一貫して変わらず、最後まで結論が出なかった)	選択	70.3%
	二 相手や場面に合わせて正しい敬語を選択する	選択	39.3%
	三 傍線部「なかった」の主語として、適切なものを選択する	選択	34.1%
	四 行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する	選択	30.6%
	五 「かすみ」や「雲」のように見えたものを本文中から抜き出す	短答	40.3%
2	一 案内文の形式について適切なものを選択する	選択	39.6%
	二 小学生向けの案内文にふさわしい表現に書き直す	短答	54.4%

問題番号	問題概要	問題形式	正答率
3	一 「筋が悪い」の意味として正しいものを選択する	選択	58.9%
	二 【文章の一部】の論の進め方の特徴として適切なものを選択する	選択	34.0%
	三 ひらめきが入ラックスすることによって引き起こされることについて自分の考えを書く	記述	32.1%
4	一 話し合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する	選択	55.1%
	二 話し合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する	選択	37.3%
	三 話し合いの話題や発言を踏まえ、「これからどのように本を選びたいか」について自分の考えを書く	記述	31.2%
5	一 手紙の下書きを見直し、誤って書かれている漢字を見付けて修正する	短答	40.2%
	二 手紙の下書きを見直し、修正した方がよい部分を見付けて修正し、修正した方がよいと考えた理由を書く	記述	28.1%

授業改善のポイント

具体的な設問例
5二
正答率
28.1%

読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる問題

学習指導要領における内容
【第1学年】B 書くこと
エ 読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること。

読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整える

書いた文章を推敲する際には、伝えようとするものが伝わるように、読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるように指導することが大切です。叙述の仕方などを確かめるとは、文や段落の長さ、文や段落の役割、段落の順序、語順などが適切であるかなどをみることです。

その際、「指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めること」、「敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うこと」などとの関連を図り、学習した「知識及び技能」を生かして文章を整えるよう指導することが有効です。

例えば、行事後に書いた作文など、これまでに書いた文章を時間をおいて読み返し、観点を明確にして文章を整えたり、具体的な相手を想定して読み返し、伝えようとするものが伝わるかどうかを確かめたりすることが十分に書き表されているかなどを、読み手の立場に立って確かめることが重要です。その際、書いた文章を音読するなどして、叙述の仕方を整えることなども効果的です。

【手紙の下書きの一部】 ※別ページと同じものです。

光日
さて、昨日は、私たちの職場体験活動に協力してくださりありがとうございました。大野さんをはじめ、お店の皆さんに親切に指導してもらい、多くの学びを得ることができました。

この体験活動を通じて、私は、生花店で働くことについて、華やかなイメージしか聞いていなかったのですが、皆さんに教わりながら、一つ一つ仕入れた商品を丁寧に処理したり、葉や花びらが落ちていないように気を付けたり、花を長持ちさせる方法や花言葉を勉強したりすることもを通して、華やかさの裏には、それを受ける作業や専門的な知識があることを知りました。

※解答は、解答用紙に書きなさい。

条件1 修正した方がよい部分は複数ありますが、言葉の使い方や叙述の仕方などについて、あなたが特に修正した方がよいと考える部分を一つ選ぶこと。なお【手紙の下書きの一部】の内容は、変わらないようにすること。

条件2 修正する際は、削除したり書き直したりした部分を線で消し、書き直す場合は、消した言葉の右側に、どのように直すのかを書くこと。

条件3 修正した方がよいと考えた理由を具体的に書くこと。なお、読み返して文章を通したときは、線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

令和8年度第1回
教科に関する結果
中学校第1学年
数学

平均正答率
(平均正答数) **53.4%**
(10.7問/20問)

平均
無解答率 **2.85%**

改善
が図られた問題
(出題の趣旨)
・示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解している(10(2))

平均正答率	過去同一問題正答率	改善状況
34.3%	32.3%	+2.1

課題
が見られた問題
(出題の趣旨)
・()を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができる(4)
・複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述できる(9(3))

66.3%	69.6%	-3.3
38.7%	42.4%	-4.3

各問題の正答率

問題番号	問題概要	問題形式	正答率	問題番号	問題概要	問題形式	正答率
1	$2+4.5 \times 8$ を計算する	短答	67.2%	8	(3) 百人一首の記録から、正しいヒストグラムを選ぶ	選択	61.2%
2	答えが $15 \div 0.6$ の式で求められる問題を選ぶ	選択	28.1%		(4) クラス全員の百人一首大会の記録から、「けんたさんが百人一首大会で取った札の枚数の記録より少ない枚数を取った人の方が多い」ことがわかる理由を、代表値のいずれかを用いて説明する	記述	18.8%
3	4mのリボンの長さは10mのリボンの長さの何倍かを求める	短答	30.5%	9	(1) 水平になっていない辺を底辺としている直角三角形の面積を求める	短答	53.0%
4	2種類の辞典を全部並べた長さを求める二つの式について、それぞれどのようなことを表しているのかを選ぶ	選択	66.3%		(2) 直角三角形を組み合わせた図形の面積について分かることを選ぶ	選択	71.6%
5	円柱の体積を求めるための式を答える	短答	54.0%		(3) 二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く	記述	38.7%
6	三角形ABCと合同な三角形をかくことができる条件を選ぶ	選択	58.3%	10	(1) 果汁が40%含まれている飲み物の量が1000mLのときの、果汁の量を書く	短答	67.3%
7	㊸と㊹の二つのシートの混み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶ	選択	45.9%		(2) 果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ	選択	34.3%
8	(1) 百人一首の記録の中央値を求める	短答	68.8%		(3) 果汁が30%含まれている飲み物に果汁が180mL入っているときの、飲み物の量の求め方と答えを書く	記述	63.2%
	(2) 度数分布表について、ある階級の度数を求める	短答	81.0%				

授業改善のポイント

具体的な設問例
4
正答率
66.3%

()を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができるかどうかをみる問題

学習指導要領における領域・内容

【第4学年】A 数と計算
(6) 数量の関係を表す式に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
(ア) 問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすること。

4 辞書やファイル名、教室の後ろに置くようしています。あきさんの部屋では、国語辞典と漢字辞典を1人1冊ずつ使えるように、10cmの厚さの辞典を並べた長さを求めました。そこで、あきさんに、国語辞典と漢字辞典を全部並べた長さ(2冊の厚さ)を聞いてもらいました。国語辞典1冊の厚さは4cm、漢字辞典1冊の厚さは28cmです。

国語辞典と漢字辞典を全部並べた長さ

1人分ずつ並べたとして考えることもできます。

あきさん

あきさんの部屋では、あきさんの部屋でも、どちらも同じ長さになるはずですね。

ひまわり

示された式を、具体的な場面と関連付けて読むことができるようにする

式を用いて数量の関係を表したり、具体的な場面と関連付けて式を読んだりすることができるようにすることが重要です。
指導に当たっては、例えば、本設問を用いて、二通りの式を、国語辞典と漢字辞典を並べる場面とそれぞれ関連付けて、式の中の数値や演算は何を表しているかを明らかにして説明する活動が考えられます。その際、 5×28 について、一つ分の大きさが5で、それが28個あることから、5や28が何を表しているのかを考え、5が国語辞典1冊の厚さ「5cm」であることと、28が国語辞典の冊数「28冊」であることを見だし、 5×28 は国語辞典28冊を並べた長さであることを捉えるなど、式を読むことができるようにすることが大切です。

詳細は下記の二次元コードを読み込むかリンクからご覧ください。

課題の改善に向けた授業アイデア例

実施対象学年
第4学年

国立教育政策研究所ホームページ

令和5年度
全国学力・学習状況調査の結果
を踏まえた授業アイデア例



「本を並べたときの長さを工夫して求めよう」
～計算に関して成り立つ性質を活用し、場面を新たに捉える～

<https://www.nier.go.jp/jugyoure/r/05/index.html>

令和8年度第1回
教科に関する結果
中学校第2学年
数学

平均正答率
(平均正答数) **51.5%**
(10.3問/20問)

平均
無解答率 **6.48%**

改善
が回られた問題
(出題の趣旨) ・ 累積度数の意味を理解している (10)

平均正答率	過去同一問題正答率	改善状況
52.0%	46.9%	+5.1

課題
が見られた問題
(出題の趣旨) ・ 比例定数の意味を理解している (12 (3))

38.2%	-	-
-------	---	---

・ 範囲の意味を理解している (13 (1))

42.4%	45.5%	-3.1
-------	-------	------

各問題の正答率

問題番号	問題概要	問題形式	正答率
1	$2 \times (-3)^2$ を計算する	短答	66.8%
2	60を素因数分解する	短答	62.8%
3	「プールの水の深さは120cm以下である」という数量の関係を表した不等式を選ぶ	選択	56.4%
4	$2x = x + 3$ の解について正しい記述を選ぶ	選択	54.8%
5	垂線の作図で利用されている図形の性質を選ぶ	選択	57.5%
6	中心角 120° の扇形の面積について正しいものを選ぶ	選択	71.9%
7	立体の辺が底面に垂直であるかどうかを調べる方法として、正しいものを選ぶ	選択	54.0%
8	与えられた表を基に、宅配サービスの重量と料金の関係を、「…は…の関数である」という形で表現する	短答	38.4%
9	$y = -2x$ 上の点を選ぶ	選択	38.5%
10	50m自由形の記録の、最小の階級から29.00秒以上30.00秒未満の階級までの累積度数を求める	短答	52.0%

問題番号	問題概要	問題形式	正答率
11	1枚の硬貨を多数投げたときの表が出る相対度数の変化の様子について、正しい記述を選ぶ	選択	33.1%
12	(1) 与えられた表やグラフから、キャップが30個のときの重さが59.6gであったことを表す点を選ぶ	選択	91.6%
	(2) 与えられた表やグラフを用いて、キャップの重さが160gのときのキャップの個数を求める方法を説明する	記述	39.7%
	(3) y が x に比例するとき、比例定数である「15」が表すことがらを選ぶ	選択	38.2%
13	(1) 待ち時間の範囲を求める	短答	42.4%
	(2) ヒストグラムから待ち時間が60分未満の来院者の人数を求める	短答	79.1%
	(3) 「60分未満の来院者数は、8時台の方が11時台より多いとは言いきれない」と主張することができる理由を相対度数を用いて説明する	記述	24.5%
14	(1) 示された模様の中で、平行移動で重ね合わせることができる三角形の個数を求める	短答	41.2%
	(2) 2つの三角形はどのような回転移動によって重なるかを説明する	記述	13.5%
	(3) 正方形の紙を2回折りにし、切って開いた模様が、示された模様になるものを選択する	選択	74.7%

授業改善のポイント

具体的な設問例
13(1)
正答率
42.4%

範囲の意味を理解しているかどうかをみる問題

学習指導要領における領域・内容

【第1学年】Dデータの活用
(1) データの分布について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
(ア) ヒストグラムや相対度数などの必要性と意味を理解すること。

13 ある病院では、来院者にアンケートを実施しています。アンケートの結果として、午前中の混んでいない時間帯を知りたいという要望が多くありました。

病院職員の啓太さんと春花さんは、来院者に午前中の混んでいない時間帯に受付をしてもらえるように提案をしたいと考えています。二人は、ある週の月曜日から金曜日までの午前中の来院者数について、次のような表にまとめました。

曜日	月	火	水	木	金
来院者数(人)	134	98	110	102	150

上の曜日ごとの来院者数から、調べた週の来院者数は金曜日が一番多いことがわかります。

そこで、待ち時間を、来院者が受付をしてから診察が始まるまでの時間として、金曜日の来院者150人の待ち時間について調べることになりました。

(1) 啓太さんは、待ち時間について調べたことを、次のようにまとめました。

	平均値	中央値	最頻値	最大値	最小値
待ち時間(分)	70.2	58	25	164	3

来院者によって待ち時間が違うため、待ち時間の散らばりの程度を考えます。待ち時間について調べたことをもとに、待ち時間の範囲を求めなさい。

※解答は、解答用紙に書きなさい。

データにおける範囲が、分布の散らばりの程度を示していることについて理解できるようにする

「範囲」とは、データの最大値と最小値との差であり、データの散らばりの程度を表す値です。

指導に当たっては、範囲について、最大値と最小値の差であることを捉えていることで、範囲の意味について理解していることなく、データにおける範囲が、分布の散らばりの程度を示していることについても理解できるようにすることが大切です。平均値が等しい二つの集団のデータでも範囲が等しいとは限りません。また、範囲は極端にかけ離れた値が一つでもあるときは、その影響を受けるので、取扱いや解釈の仕方には十分注意する必要があることを指導することが大切です。範囲の意味を理解することは第2学年の箱ひげ図の意味の理解にもつながることを意識して指導することも大切です。

令和8年度第1回
教科に関する結果
中学校第1学年
理科

平均正答率
(平均正答数) **52.5%**
(11.0問/21問)

平均
無解答率 **3.13%**

改善
が図られた問題
(出題の趣旨)
・メスシリンダーの正しい扱い方を理解している(3(1))

課題
が見られた問題
(出題の趣旨)
・作用点の位置を変えて手ごたえの大きさの変化を調べる実験について、条件を制御しながら構想することができる(2(2))
・発芽するために必要な条件について、実験の条件を制御した解決の方法を発想し、表現することができる(4(3))

平均正答率	過去同一問題正答率	改善状況
67.8%	62.5%	+5.3
29.9%	-	-
41.9%	57.4% (参考値)	-15.5 (参考値)

※(参考値) …全国学力・学習状況調査の平均正答率

各問題の正答率

問題番号	問題概要	問題形式	正答率
1	(1) 振り子が1往復する時間を変える要因を調べるため適切に条件を変えた振り子を選択する	選択	67.7%
	(2) 振り子時計の進み方を調整する内容を選択する	選択	44.3%
	(3) 振り子時計の軸に用いる適切な金属を選択する	選択	75.9%
	(4) 電磁石と磁石が退け合うようにするための極の組み合わせを選択する	選択	48.3%
	(5) 電磁石の働きを利用した振り子が左右に等しく振れる導線の巻き方について、当てはまるものを選択する	選択	69.6%
	(6) 電磁石の働きを利用した振り子が左右に等しく振れる乾電池のつなぎ方について、当てはまるものを選択する	選択	56.7%
2	(1) 支点、力点、作用点の並び方が、バール(くぎぬき)と同じになっているものを選択する	選択	51.8%
	(2) 作用点の位置を変えて手ごたえの大きさの変化を調べる実験における変えない条件を記述する	記述	29.9%
	(3) てこを使って同じ重さのおもりを持ち上げたとき、手ごたえが最も大きくなるものを選択する	選択	41.3%
	(4) 実験の結果から、てこが水平につり合うときの規則性を見出し、「きまり」と「おもりの重さ」という言葉を使って書く	短答	52.9%

問題番号	問題概要	問題形式	正答率
3	(1) 水50mLをはかり取る際に、メスシリンダーに入れた水の量を正しく読み取り、さらにスポイトで加える水の量を選択する	選択	67.8%
	(2) 水溶液の凍り方について、実験の結果を基に、それぞれの水溶液が凍る温度を見だし、問題に対するまとめを選択する	選択	59.6%
	(3) 凍った水溶液について、試してみたいことを基に、見いだされた問題を記述する	記述	38.7%
4	(1) ハチマの花のおしべとめしべについて選び、受粉について書く	短答	60.7%
	(2) ハチマの花粉を顕微鏡で観察すると、適切な像にするための顕微鏡の操作を選択する	選択	53.6%
	(3) ハチマの種子が発芽する条件を調べる実験において、条件を制御した解決の方法を選択する	選択	41.9%
	(4) レタスの種子の発芽の結果から、てるみさんの気付きを基に、見いだした問題について記述する	記述	20.6%
5	(1) 方位磁針の針の位置から、東の向きを選択する	選択	34.3%
	(2) 太陽とかげが、観察後どのように動かかを選択する	選択	65.2%
6	(1) 3日間の気象衛星の雲画像から、札幌と東京の天気を選択する	選択	71.9%
	(2) 3日間の気象衛星の雲画像から、日本付近の雲の動き方を選択する	選択	50.2%

授業改善のポイント

具体的な設問例
4(3)
正答率
41.9%

実験の条件を制御した解決の方法を発想し、表現することができるかどうかをみる問題

学習指導要領における区分・内容

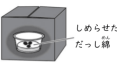
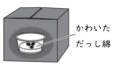
【第5学年】B 生命・地球
(1) 植物の育ち方について、発芽、成長及び結実の様子に着目して、それらに関わる条件を制御しながら調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。
(イ) 植物の発芽は、水、空気及び温度が関係していること。

4 たかひらさんたちは、インゲンマメの発芽について調べたことを思い出し、次のように、ハチマの発芽について調べることになりました。

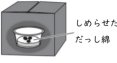
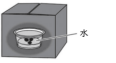
【問題】 ハチマの種子は、どのような条件で発芽するのだろうか。

【予想】 インゲンマメの種子と同じように、水、空気、適した温度(室温)といった条件で発芽すると思う。

【方法①】 水が必要か調べる。

 <条件> ・水あり ・空気あり(種子が空気にふれている) ・温度(室温) ・日光なし(箱をかぶせている) ・肥料なし	 <条件> ・水なし ・空気あり(種子が空気にふれている) ・温度(室温) ・日光なし(箱をかぶせている) ・肥料なし
---	--

【方法②】 空気が必要か調べる。







 <条件> ・水あり ・空気あり(種子が空気にふれている) ・温度(室温) ・日光なし(箱をかぶせている) ・肥料なし	 <条件> ・水あり ・空気なし(種子が空気にふれない) ・温度(室温) ・日光なし(箱をかぶせている) ・肥料なし
---	---

【方法③】 適した温度(室温)が必要か調べる。

ケ	コ
---	---

【2】 【問題】 の字とは、それぞれどのような条件で発芽すればよいか。写真を見て実験を、字からわかる条件から「温度」について、また「日光」で見る実験を、決めた条件から実験のやりかたを記述しなさい。

(例)

 <条件> ・水あり ・空気あり(種子が空気にふれている) ・温度(室温) ・日光なし(箱をかぶせている) ・肥料なし	 <条件> ・水あり ・空気あり(種子が空気にふれている) ・温度(室温) ・日光あり(直射日光) ・肥料なし(箱をかぶせている) ・肥料なし
 <条件> ・水あり ・空気あり(種子が空気にふれない) ・温度(室温) ・日光なし(箱をかぶせている) ・肥料なし	 <条件> ・水あり ・空気あり(種子が空気にふれている) ・温度(室温) ・日光あり(直射日光) ・肥料あり(肥料がまかれたらいい)・肥料なし
 <条件> ・水あり ・空気あり(種子が空気にふれている) ・温度(室温) ・日光なし(箱をかぶせている) ・肥料なし	 <条件> ・水あり ・空気あり(種子が空気にふれている) ・温度(室温) ・日光あり(直射日光) ・肥料あり(肥料がまかれたらいい)・肥料なし

条件を制御した観察、実験の計画

自然の事物・現象に影響を与えると考えられる要因を予想し、その要因を変える条件と変えない条件に区別しながら、予想や仮説を基に解決するための実験の方法を計画することが大切です。

指導に当たっては、予想や仮説を基に、実験に関する全ての条件を明確にした上で、どの条件を変える必要があるかを検討したり、他の条件は全て同じになっているかを確認したりすることが大切です。

例えば、本設問のように、実験に関する条件が多いとき、温度を変えることを意図していても、結果として日光と温度の2つの条件が異なる実験方法になっていることがあります。図や表などに整理したり、実験前に計画を見直したりして、検証したい条件のみが変わっているかを確認する学習活動が考えられます。



令和8年度第1回
教科に関する結果
中学校第2学年
理科

平均正答率
(平均正答数) **42.7%**
(9.0問/21問)

平均
無解答率 **4.13%**

改善
が回られた問題
(出題の趣旨)
・身の回りで起こる不思議な現象のうち、光の屈折によって起こるものを指摘することができる(5(2))

平均正答率 **63.4%**
過去同一問題正答率 **59.4%**
改善状況 **+4.0**

課題
が見られた問題
(出題の趣旨)
・状態変化に関する知識及び技能を基に、予想が反映された振り返りから、探究の過程の見通しについて分析して解釈することができる(2(4))
・力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明することができる(4(1))

28.7% **-** **-**

15.4% **17.7%** **-2.3**

各問題の正答率

問題番号	問題概要	問題形式	正答率
1	(1) 軟体動物の組み合わせを選択する	選択	87.9%
	(2) 「アサリが出した砂の質量は明るさに関係しているとはいえない」と考察した理由を選択する	選択	76.0%
	(3) 明るさを変えるとそれに伴って変わってしまう可能性のある要因を書く	短答	55.9%
2	(1) 特定の質量パーセント濃度の水溶液の溶質と水のそれぞれの質量を選択する	選択	26.9%
	(2) 水とエタノールの混合物を加熱した際の、混合物の温度変化を表したグラフを選択する	選択	28.9%
	(3) ガスバーナーの火を消す前に、ガラス管の先が液体につかっていることを確認する理由を記述する	記述	42.9%
	(4) 【予想】から学習した内容が反映された彩さんの【ふり返り】を読み、彩さんの【予想】を判断し、選択する	選択	28.7%
	(5) 小片の各液体への浮き沈みと、密度を問わらせて、小片がどの物質であるかを選択する	選択	43.8%
3	(1) 示された花の模式図にならって、アブラナの花のつくりを表した模式図を選択する	選択	61.6%
	(2) 「チューリップの花が開くには、温度が関係している」という考察の根拠となる実験結果の組み合わせを選択する	選択	30.0%
	(3) チューリップの花が開く温度を明らかにするための追実験を計画するに当たって、実験結果の考察から設定する温度を答える	短答	28.8%

問題番号	問題概要	問題形式	正答率
(1)	おもりに働く重力とつり合う力の矢印を選択し、その力について説明する	選択	15.4%
4	(2) 「ばねが縮む長さは、加える力の大きさに比例するか」という課題に正対した考察を行うために、適切に処理されたグラフを選択する	選択	34.7%
	(3) 考察の妥当性を高めるために、測定範囲と刻み幅をどのように調整して測定点を増やすかを説明する	記述	29.8%
5	(1) 光の入射角と屈折角の大きさの関係として適切な組み合わせを選択する	選択	46.1%
	(2) 光の屈折によって起こる現象を2つ選択する	選択	63.4%
6	(1) 音の波形を比較し音の高さが高くなった根拠として正しいものを選択する	選択	41.0%
	(2) 音の高さは、空気の部分の長さに関係しているという仮説が正しい場合に得られる結果を予想して選択する	選択	34.7%
7	(1) 玄武岩の露頭で化石の観察が可能か判断し、その理由を選択する	選択	42.6%
	(2) 陸上のB地点で古生代のサンゴの化石が観察されることについて、垂直方向の変動だけで推論した他者の考察を検討し、水平方向の変動も踏まえた推論が必要であることを指摘する	選択	46.3%
	(3) 東西方向と南北方向の地層の断面である露頭のスケッチから、地層が傾いている向きを選択する	選択	30.3%

授業改善のポイント

具体的な設問例

2(4)
正答率 **28.7%**

探究の過程の見通しについて分析して解釈することができるかどうかをみる問題

学習指導要領における分野・内容

【第1分野】(2)身の回りの物質

- (ア)物質のすがた
- ⑦身の回りの物質とその性質
身の回りの物質の性質を様々な方法で調べる実験を行い、物質には密度や加熱したときの変化など固有の性質と共通の性質があることを見いだして理解するとともに、実験器具の操作、記録の仕方などの技能を身に付けること。
- (ウ)状態変化
- ①物質の融点と沸点
物質は融点や沸点を境に状態が変化することを知るとともに、混合物を加熱する実験を行い、沸点の違いによって物質の分離ができることを見いだして理解すること。

「自己の考えがどのように変容したか」等に着目した振り返りができるようにする

理科では、観察、実験の結果を分析して解釈したり、予想や仮説を設定したりして、科学的な探究の方法を基に見通しをもって探究を進めていくことが大切です。

指導に当たっては、自己の考えがどのように変容したか等に着目し、振り返りをする学習場面を設定することが考えられます。

その際、探究の各過程で自己の考えを表現し、必要に応じて多様な視点で自己の考えについて振り返りようにすることが重要です。また、振り返りをグループまたはクラス全体で共有することで、自己の振り返りが深まることが考えられます。

【実験】の【結果】は、次のようになります。

試験管	液体の質量(g)	液体の体積(cm ³)	密度(g/cm ³)
A	2.65	3.1	0.85
B	2.76	3.0	0.92
C	3.10	3.2	0.97

【表1】液体の水とエタノールの密度*

液体	水	エタノール
密度(g/cm ³)	1.00	0.79

*液体の温度が20℃のときの値

(4) 彩さんの【ふり返り】は、彩さんが【予想】した内容が反映されたものになっています。彩さんの【予想】として最も適切なものを、下のアからエの中から1つ選びなさい。

- ア 水とエタノールが一定の割合で混ざった液体が出てくると考えられる。
- イ 初めは水の割合が多く、わずかにエタノールがふくまれる液体が出てくる。その後、しだいに液体中にエタノールがふくまれる割合が大きくなっていくのではないかと予想する。
- ウ 初めは純粋なエタノールが出てきて、エタノールがすべて出た後、純粋な水が出てくると思う。
- エ 最初水はエタノールを多くふくんだ液体が出てきて、時間がたつにつれ、液体にふくまれる水の割合がだんだん増えていくと予想する。

今回の学習についてふり返る場面

実験の前に、試験管A～Cにはどのような液体が集まるか、みなさん予想してましたね。予想と実験結果を比べて、自分の考えがどのように変化したか、彩さんに【ふり返り】を発表してもらいましょう。

先生

最初試験管A、Bの液体にはエタノールがふくまれて、試験管Cの液体にはエタノールがふくまれていないと思いました。しかし、【表1】やそれぞれの試験管にたまった液体の密度と水とエタノールの密度との比較から、どの試験管の液体にも水とエタノールの両方がふくまれていると分かりました。

彩さん